

こんぴらだより



vol.48 2018

グループホーム こんぴら

行事報告

取り組み

サンライズ こんぴら

行事報告

利口げな話

特集：「へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜」 第42回

編集後記

関連機関



特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第42回



！ 水道の蛇口は重曹でピカピカに

水道の蛇口は意外に汚れが付きやすいもの。サビも出やすく、水やお湯で拭いただけでは、なかなかきれいになりません。そんなときは重曹を使います。

水で湿らした布に重曹をつけて磨くだけで、鈍くもった蛇口が輝くようにピカピカになります。また古くなった歯ブラシに、歯磨き粉をつけて磨いても効果は同じ。細かなところも、びっくりするほど汚れが取れます。



*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?

知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜と、実感できるアイデアを日々、教わっています。
(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

サンライズこんぴらは、平成20年2月3日に開設し、『住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います。』という理念の基、10年目を迎える事ができました。利用者様やご家族様、地域の方々をはじめ、皆様に支えて頂いたおかげと深く感謝しております。これからも地域に根ざした事業所を目指していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第48号

発行元：グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら

編集者：こんぴらだより発行部

住所：〒766-0002 仲多度郡琴平町167

TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成30年5月1日



支援医療機関 介護保険事業所



永生病院
〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



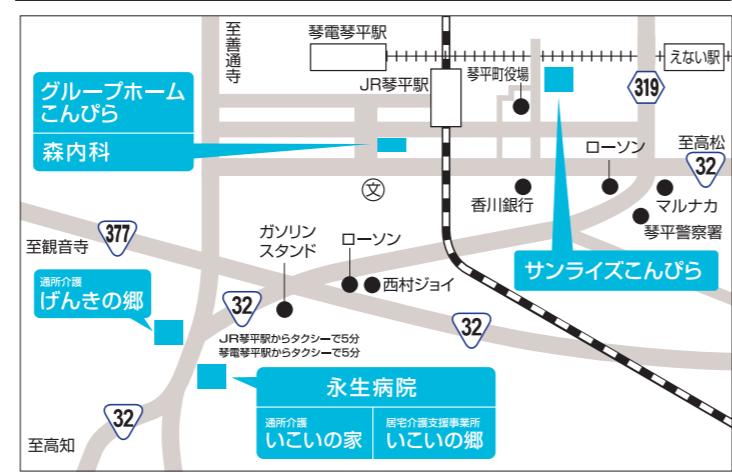
森内科 (グループホーム こんぴら)
〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188



グループホーム こんぴら
Tel 0877-73-0811

サンライズ こんぴら
(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

- **いこいの郷** (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- **いこいの家** (通所介護) Tel 0877-73-3718
- **げんきの郷** (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



グループホームこんぴら Group Home Konpira

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

1. 家庭的で安全な療養環境を提供します
2. 24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
3. 自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

～地域運営推進会議～

地域運営推進会議を2月14日にあけぼのユニットにて開催しました。今回は、『認知症・転倒予防』『推進会議の一年を振り返って』『外部評価の結果報告』を行いました。『推進会議の一年を振り返って』では、29年度に開催した5回の内容を、パワーポイントを用いて説明しました。会議には、役場・民生委員・調剤薬局・ご近所の方々、入居者のご家族様など多数の方の参加がありました。これからも、様々な勉強会や取り組みを行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



～お練り～

4月6日(金)、四国こんぴら歌舞伎のお練りが行われました。今年は人気役者の中村橋之助、改めの中村芝翫さん親子の襲名披露があり、たくさんの方で賑わっていました。当日はあいにくのお天気でしたが、入居者様は雨にもかかわらず商店街に出て声援を送りました。目の前を通り過ぎる役者さんの姿にうっとりされていました。



～お花見～

今年もコトデン琴平駅横の高灯籠の桜の花が綺麗に咲きました。満開の桜の下でお花見を楽しみました。「見事やなあ～」「今年も見に来られて良かった、来年も見に来よう」と話が弾んでいました。



取り組み 外食

グループホームこんぴらでは、毎月外に出かけて食事をする機会を設けています。外食先は、入居者様と食べたい物を話し合っていて決めています。以前行って美味しかったお店、新聞などで紹介されているお店などがあると「ここに行ってみたいわー」と、情報交換をしながら楽しく計画を立てています。普段とは違った場所で好きなものが味わえるので、皆さん外食の日を心待ちにしています。



サンライズこんぴら Sunrise Konpira

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

1. 通い泊まり訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

～散歩～

サンライズこんぴらの庭に今年も梅の花が咲きました。「綺麗に咲いとる」「梅の花が咲くともう春やなあ」と春の訪れを喜ばれていました。サンライズこんぴらから少し北へ行くと大きな白モクレン、すぐ近くには桜の木があり、毎年綺麗な花を見せてくれ、次々と春の花が咲くのを皆さん楽しみにしています。お天気の良い日にはお弁当を持って色々なお花を見に行きたいと思います。



～春の遠足～

まんのう森林公園へ出かけ、外でお弁当を食べたり公園内を散策しました。利用者様からは、「皆と一緒に外でお弁当を食べると美味しくて楽しいわ!」「連れてきてくれてありがとう。」と喜ばれる方や「昔、主人や子供と一緒に来た事がある。」「10年ぶりぐらいに来た。」と昔を思い出されたりと大変満足されていました。

利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



第21回 若年性認知症について

64歳以下で発症し、認知症と診断された場合を若年性認知症といいます。厚生労働省の調査によると全国で37.8万人(推計)が若年性認知症と診断をうけているそうです。18歳～64歳で人口10万人あたりの若年性認知症の人は男性57.8人、女性36.7人と男性の方が多いのも特徴です。

若年性認知症特有の問題

1. 本人、家族も働き盛りであるという事。
2. 介護者が配偶者であることが多く、小規模家族で代替介護者が得にくい。
3. 就学期の子供がいる事が多く、教育・就職・結婚等の養育課題と介護の両面での対応が迫られる等があります。

若年性認知症者への対応

若年性認知症の早期発見、早期受診、診断からの介護支援を繋ぎ、切れ目のないケアを整備する事が重要となります。また、社会参加型のサービスとして認知症対応型通所介護等の介護サービス事業所の中には、若年性認知症の人のプログラムとして、清掃・見回り・農作業等のボランティアを行う社会参加型メニューを組んでいるところがあります。一定の基準を満たせば利用者がボランティア活動の謝礼を受領することもできるので、介護者だけで何とかしようと思わず役場や介護サービス事業所等に相談しましょう。

(参考文献: キャラにコメント養成テキスト 執筆及び編集協力/ 斉藤正彦 東京都立 松沢病院 院長 山口晴保 群馬大学大学院保健学研究科山孝博 川崎クリニック)